平成２８年度第２回

鶴岡市学校給食センター運営委員会

日時：平成２９年２月２１日（火）午後３時～

場所：鶴岡市学校給食センター会議室

１．開会　（所長補佐）

２．教育長挨拶（加藤教育長）

３．報告

　報告第１号　平成２８年度鶴岡市学校給食センター運営状況について（中間報告）

　（資料により説明）

　報告第２号　平成２９年度学校給食の額について（資料により説明）

**委員長**　　ただ今の報告につきまして、ご質問があればお願いします。

　　　　　ないようですので、次の協議に移ります。

協議

　議　第１号　平成２９年度鶴岡市学校給食センター運営方針について（案）

（資料により説明）

**委員長**ただいまの運営方針について、ご質問がある方いらっしゃいますでしょうか。

**委　員**せっかくの機会ですので少し教えていただければと思います。

３点お聞きしたいのですけれども、地産地消の割合の拡大ということでご苦労が様々あるのだろうと思っています。その辺のご苦労の現状など教えていただくと、それを我々としても職員や子供達に指導していく上で理解を更に深めていくということで参考になると思います。例えば、やはり地場産物を使おうとすると価格が大きなネックになるとか。あるいは学校給食に同じ規格の物を数揃えるということがネックなんだとか、業者とのやりとりがネックなのかとか、様々な課題が複合的に絡んでいるのだろうと思いますけれども、その辺のところをお知らせいただければありがたいと思います。

　　　　２点目ですけれども、給食の衛生管理というところでは給食センターだけでなくて学校教育の中でも十分注意しなければならないと思っています。これは給食センターにお話することではなくて、もしかすると教育委員会の管理課と連携を取らなければならないことなのかもしれませんけれども、仮に給食のパート職員が感染性の病気にかかったという場合に、当然一般の教員と同じように既定の日数を休ませたり処置をとったりするわけですけれども、給食に係るということで特に管理課への報告義務であるとか、センターへの報告・連携の義務であるとかそういう関連があれば教えていただきたいと思います。今の時期本校ではインフルエンザだけでなくて溶連菌、それから感染性の胃腸炎・マイコプラズマ肺炎ですとか様々な病気が流行してその関係で職員が休むなんてことがあったものですから、それが給食の配膳に係るものやそれを手伝う技能士もということも十分想定されるのでその辺教えていただければと。

　　　　３点目は、給食費の未納の現状についてです。様々な取り組みがなされて、児童手当の支給に合わせた納付の手立てが取られたことによって一時の増加傾向が抑えられているのか、まだ今も未納額が膨らんでいる状況にあるのか。その辺も我々校長としても十分に認識していなければならないと思います。私も六小の教頭時代は随分保護者と相談したり、苦労した経験があるんですけれども現状を教えていただければありがたいなと思います。

**委員長**では給食センターの方から回答をお願いします。

**所　長**では１点目の地産地消についてですが、逆になぜ地産地消で進めるかという部分で、一つは価格ですが、協定価格を結ぶことにより安定した価格となっています。それは生産者にとってもメリットがあり給食センター側にとっても高くない・やや安価な形で仕入れることができるという部分があります。また、その地産地消が伸びてきてはいるけれども、なかなか５０％や６０％まで平均していかないという部分については、まだまだ量が足りていないということがまず大きくあります。じゃがいもについては、一部のセンターでは８割近くまでまかなっているということにはなっていますけれども、在庫があれば４月ぐらいまで繋ぐことができます。人参や玉ねぎなど５～７月ぐらいにはどうしても無くなる食材ですけれども、そこも保管方法がある程度もう少しいい状態になれば増やせると思います。今こちらとしては生産者のグループや農協を通じて品目の新規開拓や、それからそれぞれの農家にとってはもう少し収穫時期をずらしたような作型の取り組みなども提案させてもらっています。そして、給食センターには市場に出してもしっかりいい値段をつける野菜が３割、４割も入ってきているんだよということを是非学校では情報提供していただければと思います。身近なところですと上郷小の学区の農家の方がキャベツを作っておりますけれども、昨年でもキャベツは３８ｔほどを全センターで使っていますが、そのうちの４４％を鶴岡の方で二つの農家でキャベツを賄っているということで大きな規模でやっているといった経営努力をされていることとかも是非お伝えいただきたいと思います。ただ、農家の方々は天候次第ですので予定していた数量が見込めないということも多々あります。また、今回は北海道や青森などが、じゃがいも・人参など打撃を受けたわけですけれども、幸いこの地域の方々の作物は大きな被害が出ませんでした。そういった面では、収量としてこちらとしても納品いただきましたし、価格面でも高く付いたということがありますけれども、地元の野菜を多く入れていればそういった面でも影響が出ないということになります。それから、どちらかというと農家の方々の苦労は、もちろんありますけれども、生きがいとして楽しく作っているんだぞということも、昨日温海の納入者会議の中で話がありました。そういうことも給食のときに、少し学校のほうでＰＲしていただければありがたいです。

２つ目は、学校での給食に関わる方の衛生面についてでした。今年度から月２回の検便について、鶴岡地域以外の所にも拡大し給食に主に関わる方から便検査をして頂こうということで初年度からスムーズにいっております。ありがとうございます。その中で仮にそういった病気にかかったということになれば必要な休みは取っていただいて、あるいは、より安全性を持ちながら当然どなたかに代わるわけですけれども、衛生に十分留意して関わっていただくことになるのかなとは思っていますが、そういった情報も管理課の方に届けていただき、各センターとも情報が共有できれば、非常にありがたいなと思っています。その報告の基準などについてはちょっと私も管理課などとも確認しながらお互いルール作りもしてみたいと思っています。

最後に給食費の未納の現状については、大きくはこの児童手当、その前は子供手当というような時期もありましたけれども、その制度ができてから、それまでなかなか解消にならなかった過年度の給食費の未納分も一定程度納めていただくことができました。

また最近は、現年の当該年度分の給食費については、ほぼ未納分は解消に近づいているところです。総じて過去の大きな総額からすればだいぶ減ってきています。

**委　員**ありがとうございました。

**委員長**他にありますでしょうか。なければこちらは案ですので承認を取ることになりますが、承認いただけますでしょうか。

**全委員**異議なし。

**委員長**　　ご異議がありませんのでこちらは運営方針として承認されました。ここで私の方の進行は終わります。

**所長補佐**委員長、大変ありがとうございました。

それでは、次のその他ですけれども、こちらの方では特に用意はしておりませんので皆さんの方から給食全般につきましてご意見・ご質問がありましたらお話しをしていただければありがたいと思っております。

**委　員**せっかくの機会ですので少し時間をいただきたいと思います。

今話題になっています和歌山県と東京都の立川市での連続して１，０００人近い患者を出しているという集団食中毒の事件について、まだ正規の情報ではなく、まだ断片的な情報でのお話にはなるんですけれども、特に和歌山の方をざっくりとお話をしますと、１月２５日の食事（給食）が原因だと言われていますが、翌日から感染者（症状の出る方）は嘔吐・下痢症状ということで、調査したところ給食センターから共通して患者が出ているため、給食が原因だろうということで、２月に入ってから行政で判断して給食を止めています。一部では休校もやむ無しというようなこともあったように聞いておりますし、ノロウイルスが原因だと分かり患者から患者へ二次感染する状況になりました。家では小さい子や兄弟や家族にも飛び火したような状態になって、患者がどんどん増えて、やっと２月１７日に終息を宣言しました。市長が直々にコメントを出し謝罪しました。給食の再開に関しては３月１日からというふうに報道で聞いておりますが、丸々１か月は給食が出ない状態が続くということで家から弁当持参なので家庭にもかなり負担がかかっているのではないかと思います。まず終息までにかなりの期間がかかっているということで、ノロウイルスは特に食事だけではなくて、人から人へも感染しますのでそういったところのケアも同時に必要な案件だったと思います。給食センターの対応ですけれども原因究明を進めていたのですけれども、職員２５名中１０名のからノロウイルスが検便で検出されたということです。一般的には調理従事者からでたウイルスと食べた人からでたウイルスが同じ型であればそれが原因とみるケースが多いのですが、このケースは給食従事者がその給食を食べていたということで、自ら最初から持っていた菌なのか、食べて感染したのかが判別がつかなくなってしまいました。我々もよく給食従事者は作った給食は食べないようにしてくださいとお話しをします。マニュアルにもそう書いてあるのです。なぜかというと給食従事者が食べていると自分が元々持っていたものが原因なのか、それともその給食を食べたことででウイルスをもらったのかということで原因究明の支障になってしまいます。そして原因究明ができないとなると再開がしにくくなります。原因が分かればその所を改善することによって再開のタイミングが掴みやすくなりますけれども、原因究明ができないことが和歌山で今一番困っているということのようです。今終息を宣言して、ある程度時間をおいて３月から開始というのはそのあたりの対策を十分取り、原因がわからないけれども一通り物を全部調べるてから、再開をするのでおそらく時間がかかってしまっているのだと思います。なので再開を早く目指すのであれば、やはり給食の調理従事者は自ら作った食事は摂とらないということが一番良いかと思っております。ニュースを見ると和歌山県知事がそういうことも個人の意見として言っているので珍しいコメントだと思います。ただ厚生労働省で出している全国的な大量調理施設の管理マニュアルには特には明記されております、調理従事者は自ら作った調理品は喫食しない方が良いと。ただし検便検査の頻度を多くして大丈夫だということが確認できればと可ということも書いてあるのですが、ニュースでは和歌山県知事はこういうケースもあるし、それもどうなのかという意見も述べておりました。知事の真意はちょっとわからないですけど、我々も管理マニュアルに沿った言い方をします。あくまでもそれは自主的な最終的な判断になるということなのですが、これだけ大規模な１０００人単位という患者さんが出てしまって、それを再発しないように原因を究明しないと再開しにくいということであれば、それをやっておけば間違いないということになります。そういった点では課題が明確になった事案だと注目しております。この時期は、平成９年からノロウイルスを食中毒の原因物質として統計をとるようになってから、ほとんどトップか２位くらいということでかなり厳しい状態が続いています。先ほど鶴岡市さんが１月に検便をなさっているということなのですが、ノロウイルスの検便の費用が高く、予算的に難しいところもあるのではないかと思います。月二回の細菌検査は手頃だけれども、ノロウイルスの検査は数千円から万円ということで予算の関係もあり、なかなか対応しにくいというのもあるのではないかと思います。だからこそ、現時点で一番効果があるというのは調理従事者の健康の調査の徹底ということで、同居の家族を含めて嘔吐現象があれば調理従事はしないというような対応をしてもらっているのですが、症状が出ないという人もいて、症状が出ないから人に移す力がないわけではなく、あまり変わりはありません。一回症状が出て、嘔吐や下痢をして、お医者さんで薬をもらって治っても、長い人だと４週間くらい排出をし続けるという場合もあるので、やはり検査をしないとなかなか現場復帰が難しい。なので１００点満点で対応しようとするとかなり大変ということもあり、今回和歌山の方も民間の委託業者が運営をしていたようですが、民間もかなり徹底しているようですが、やはり人数がいる中だと徹底の度合いが足りなかったと言えるのではないでしょうか。これから詳細の調査が進みますので、それ次第かとは思うのではっきりとは言えないのですけれども、ノロウイルスはタチが悪く、こういったケースだと非常に怖いということで、その中で調理員・栄養士含めて毎日頑張ってらっしゃるということで大変頭の下がる思いではあるのですが、我々も最近は枕を高くして寝られない状態が続いています。センターもそうだと思うのですが、こういったニュースが次々出てきますので、今年は山形県が１月に２週間くらい続けてノロウイルスの発症件数が全国一位という時期もあったくらい地域的に流行りましたし、庄内地区も含め全体的に流行りました。その辺の統計も取りながら対応にあたることも必要ですし、情報提供や共有をうまくやっていけたらと思っています。

**所　長**ありがとうございました。その和歌山の御坊市が、ここと同じスタイルでメニューを２つ作っていて、その一方からということで学校数も多かったものですから規模が大きくなったということですけれども、うちの方は５つセンターがあり、すべての職員が作っている給食を食べている状況にあります。ただ、ここの鶴岡センターはメニュー２つの中で、１つは共通して食べているということなので、何かあった時は少しはわかりやすいというか影響は少し小さくなるくらいで、より予防策という部分については、できることを徹底してやっていくしかないと思っていますが、やはりノロウイルスなどに罹患した場合、長期の休みになるということは、特に民間の所もそうですし、市の臨時職員もそうなのですが、欠勤扱いになってくると調子が悪くても出てくる可能性もあり、そういったことから制度なども全国的にいい条件にしていくことが、いろんなところで大発生しないひとつの取り組みにも繋がるのではないかと思っています。私も手洗いなどの基本的なところはもちろんですけれども、いろいろな面で徹底してリスクを下げることはしていきたいと思っていますので引き続き情報のご提供をお願いします。

**所長補佐**ありがとうございました。他にありませんでしょうか。それではないようですのでこれをもちまして第２回の運営委員会を閉会いたします。

（閉　会）

終了１６：１５